

MS343-30014/5/6

リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はリヤバンパースポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
 本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
 なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS343-30014-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (062)	クラウン '18.06~ 適合：RS-B, RS, RS-Advance
MS343-30014-A1	プレジヤスホワイトパール (090)	
MS343-30014-C0	ブラック (202)	
MS343-30014-C1	プレジヤスブラックパール (219)	
MS343-30015-NP	プライマー (NP)	
MS343-30016	ブラック (BLACK EDITION) (202)	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

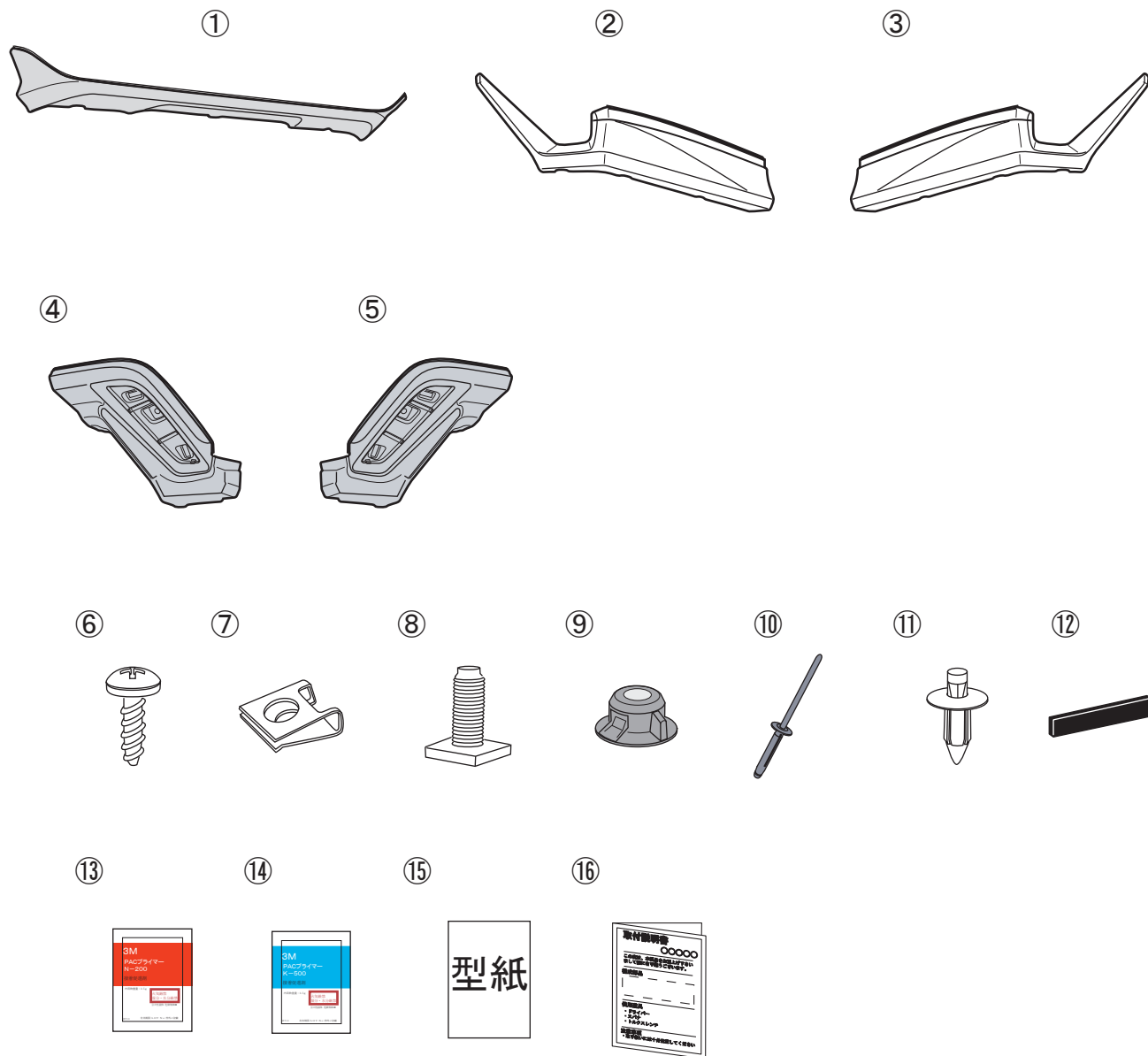
No.	品名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラーセンター	1	サテン調シルバー
②	リヤバンパースポイラーRH	1	
③	リヤバンパースポイラーLH	1	
④	リヤバンパースポイラーエクステンションRH	1	艶消し黒
⑤	リヤバンパースポイラーエクステンションLH	1	艶消し黒
⑥	タッピングスクリュー	5	5×16
⑦	Jナット	5	M5用
⑧	スクエアヘッドボルト	2	6×15
⑨	クリップナット	2	M6用
⑩	リベット	2	
⑪	クリップ	2	
⑫	クッション	1	
⑬	PACプライマー	1	N-200
⑭	PACプライマー	1	K-500
⑮	型紙	1	シール A3
⑯	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

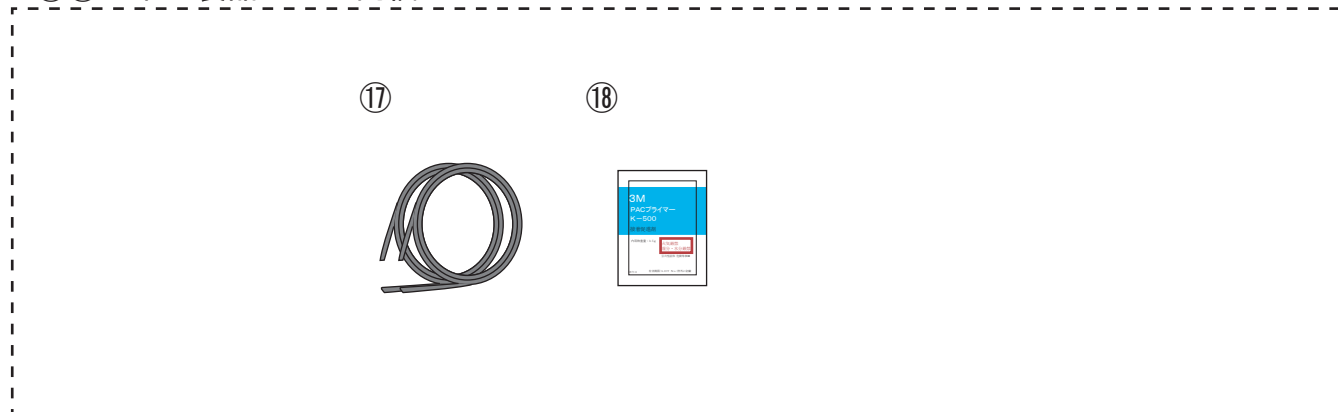
以下、MS343-30015-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑰	モール	2	黒 L=600mm
⑱	PACプライマー	1	K-500

■ 構成部品図



⑰⑱は未塗装品にのみ同梱



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車株発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行ってください。
- ❗ 脱脂作業にポディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車株発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

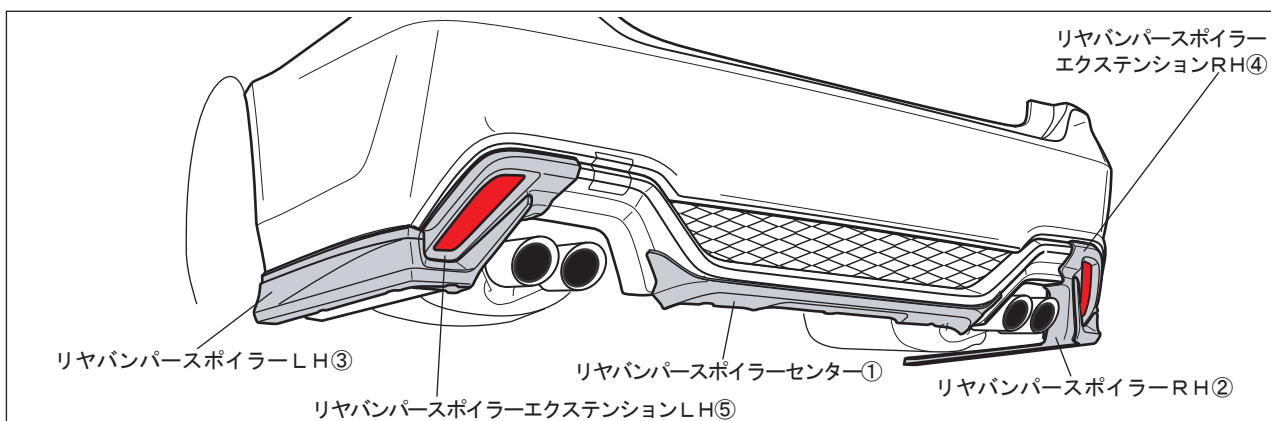
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要領 4 ~ 13
5. 取付け後の確認・点検 13

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（ハサミ、カッター等）・ヤスリ・ドリル・キリ（3.0mm・7.0mm・10mm）
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ホールソー（25mm）
- ・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図

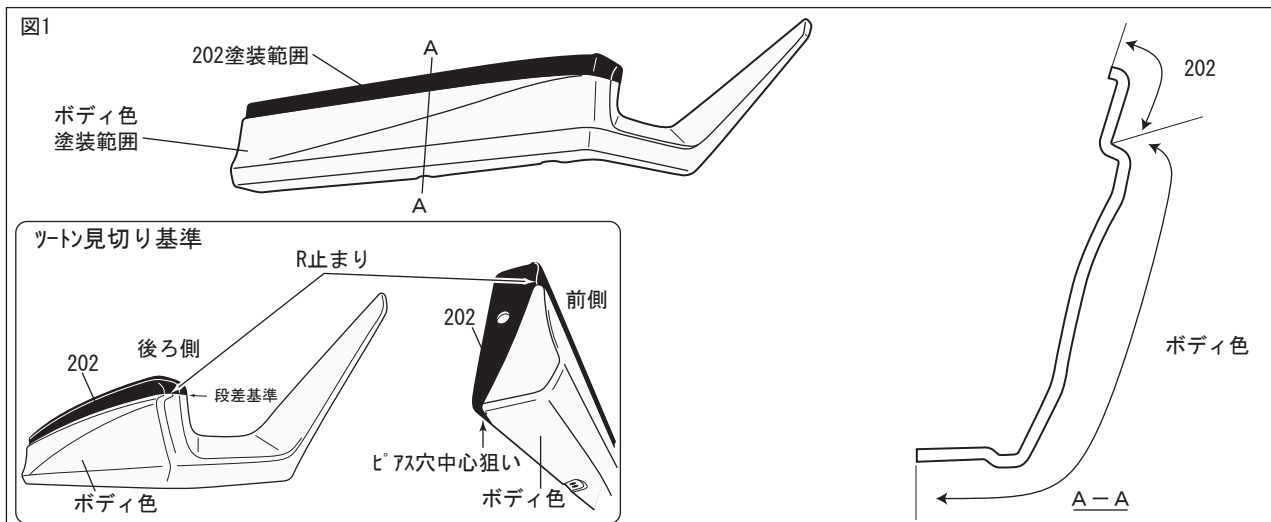


■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品（MS343-30015-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□ リヤバンパースポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

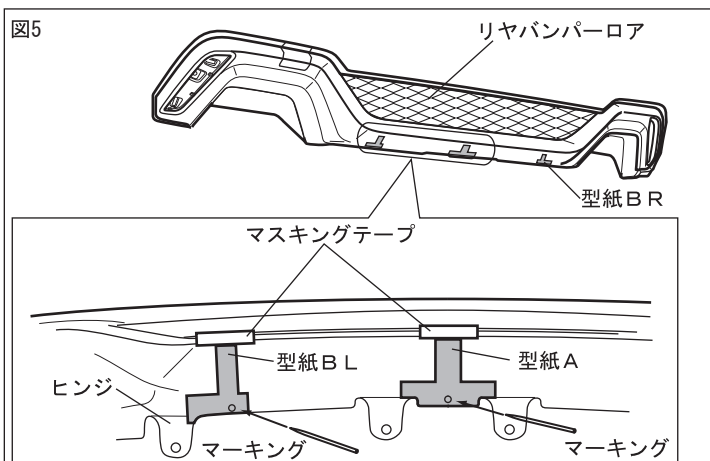
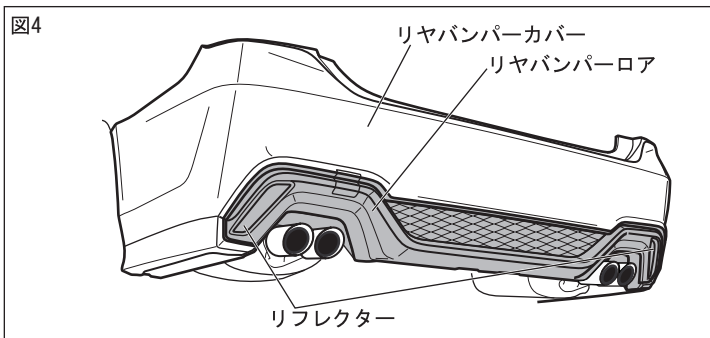
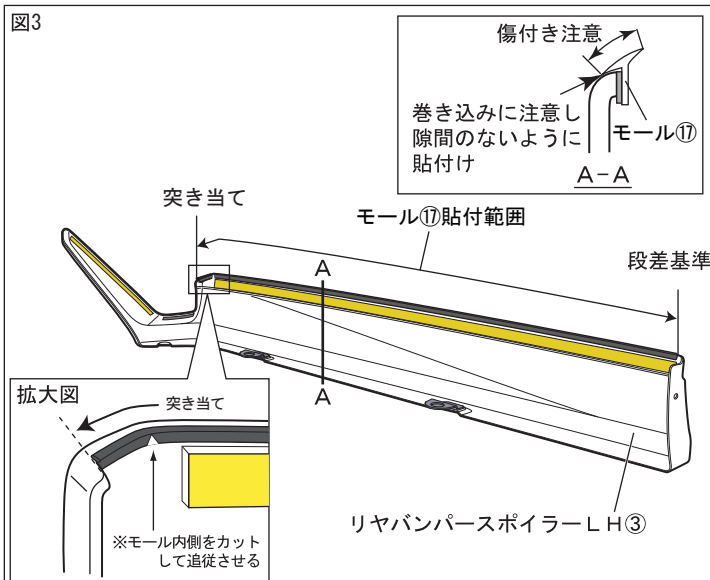
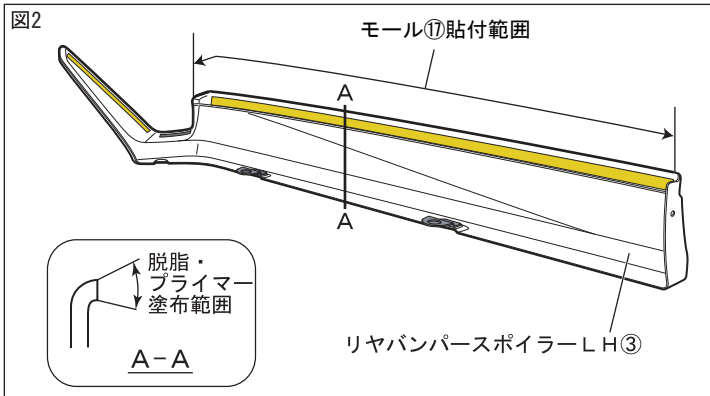


1. 図1のようにリヤバンパースポイラー-LH③をボディ色とツヤ有黒（202）で塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPAを使用し、シリコンオフおよびシンナーは用しないでください。プライマーが溶けるおそれがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープ、クッション部には絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。



□モールドの貼付け

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図2のようにモールド貼付け部の汚れを取り除き、IPA方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑩を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

2. 図3のようにリヤバンパースポイラーLH③に、モールド⑩の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。

{49N(5kgf)以上}

👉アドバイス：モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

□リヤバンパースポイラーの取付準備

1. 車両修理書に従い、リヤバンパーカバーを取外す。
2. リヤバンパーカバーからバンパーローア、リフレクターを取外す。

△注意：取外した車両部品は再使用しますので、キズ付け等に注意し保管してください。

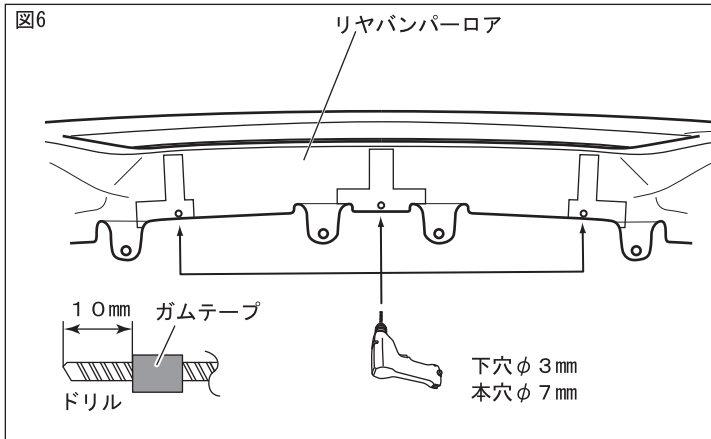
3. 図5のようにリヤバンパーローアに型紙A、BL、BRを下面のパーティングラインに合わせ貼付けて指示部をマーキングする。

(左右全3箇所)

△注意：型紙B貼付け作業時は、ヒンジ部を戻した状態で貼付け作業を行ってください。

4. 図5のように型紙A、BL、BRのモールド高さ指示の位置にマスキングテープを貼る。

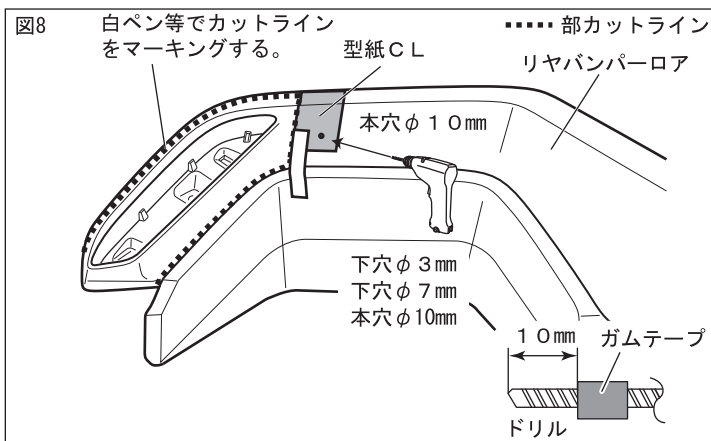
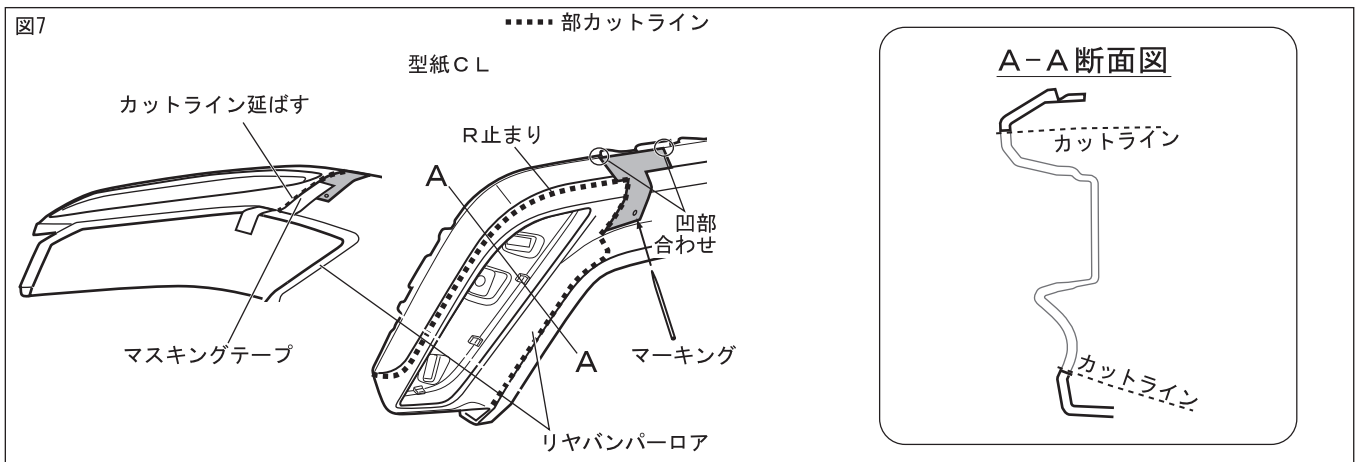
(左右全3箇所)



5. 図6のように、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順でドリルを使用してリヤバンパーロアのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。(左右全3箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

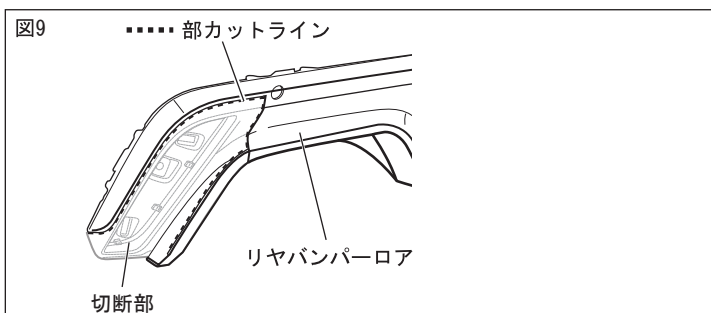
6. 図7のようにリヤバンパーロアに型紙CLをパーティングラインに合わせ貼付けて指示部をマーキングする。(左右各1箇所)
 7. 図7のように型紙CLのバンパーカットラインをマスキングテープで延ばす。(左右各1箇所)



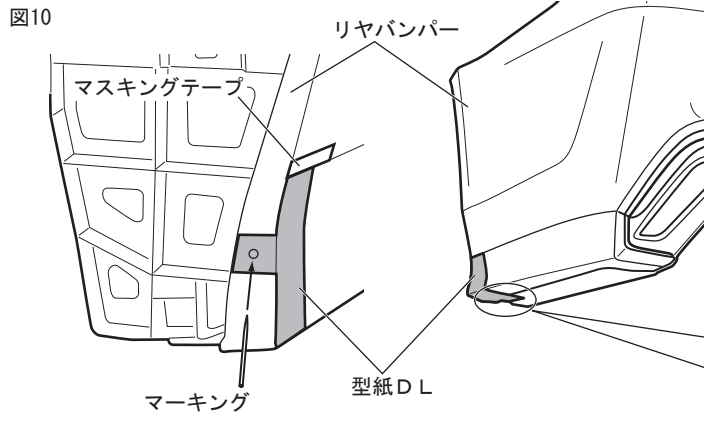
8. 図8のように、カットラインを白ペン等でマーキングする。(左右各1箇所)

9. 図8のように、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mm、φ10mmの順にドリルを使用してリヤバンパーロアのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。(左右各2箇所)

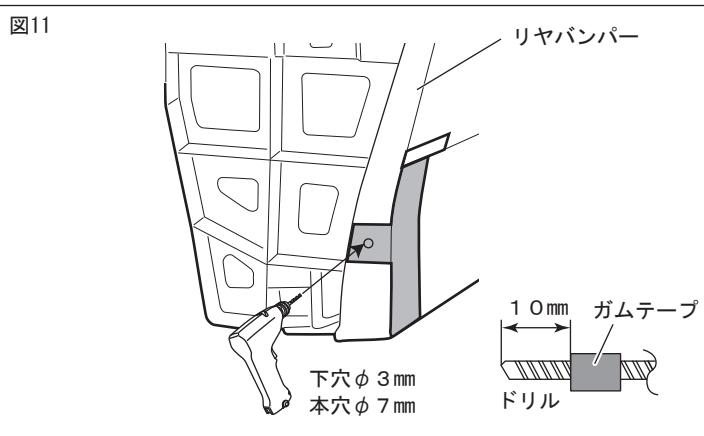
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。



10. 図9のように、カットラインに合わせてリヤバンパーロアを切断加工する。
 11. リヤバンパーロアに貼付けた型紙をすべて剥がす。

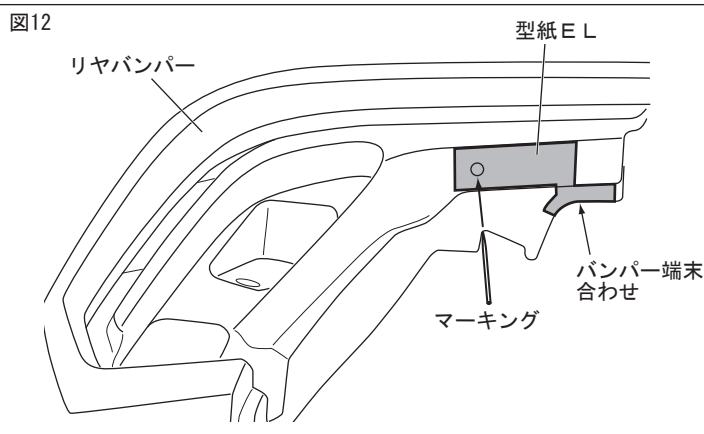


12. 図10のようにリヤバンパー下面のパーティングラインに合わせ型紙D Lを貼付て指示部をマーキングする。 (左右各1箇所)
13. 図10のように型紙D Lのモール高さ指示の位置にマス킹テープを貼る。 (左右各1箇所)

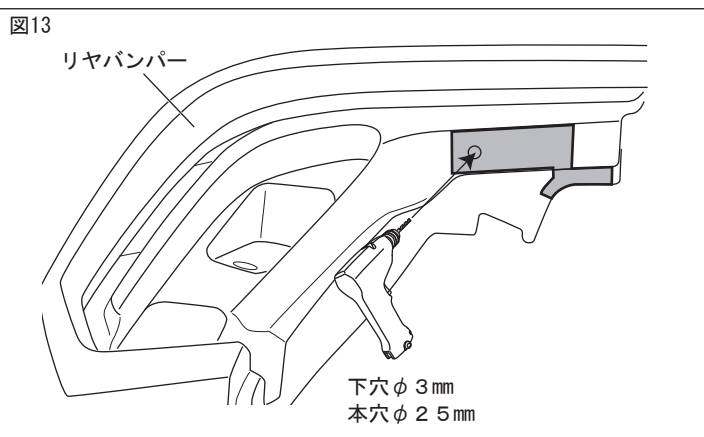


14. 図11のように使用するドリルの先端にストップパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してリヤバンパーホイールハウスのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。 (左右各1箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

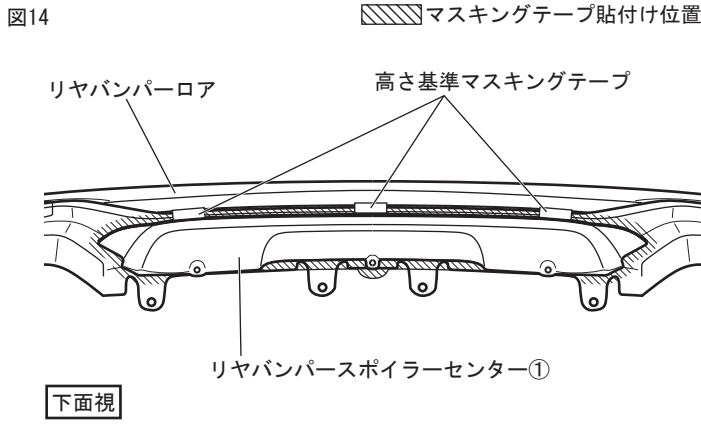


15. 図12のように型紙E Lをリヤバンパー端末に合わせ貼付けて指示部をマーキングする。 (左右各1箇所)



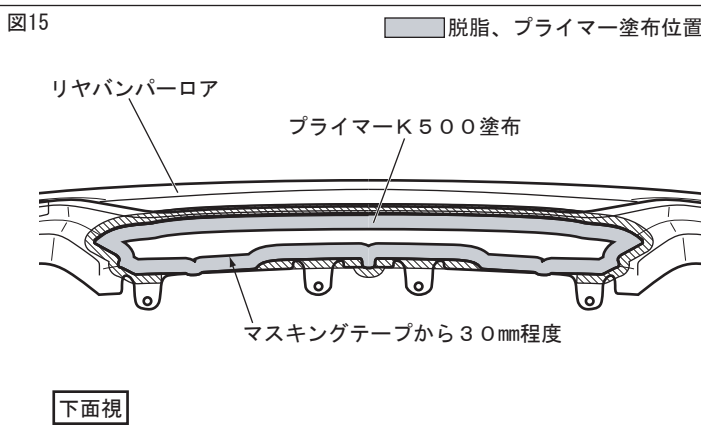
16. 図13のようにφ3mmのドリルを使用してリヤバンパーのマーキング位置に下穴をあけ、φ25mmのホールソーで本穴をあけ全てのバリを取除く。 (左右各1箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリル、ホールソーは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。



□リヤバンパースポイラーの取付要領

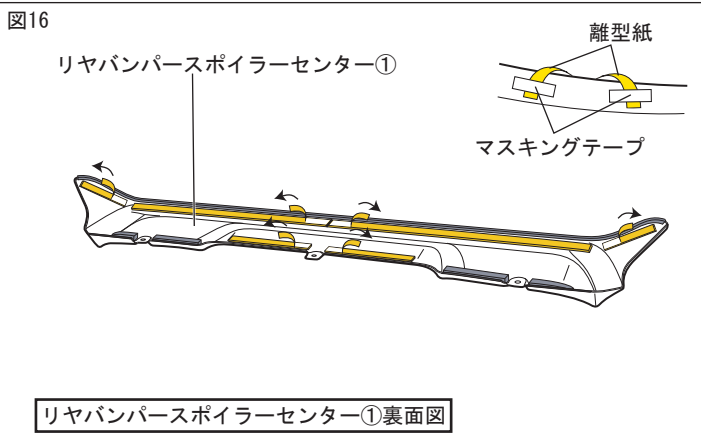
1. 車両修理書に従い、リヤバンパーとリヤバンパーロアを復元する。
2. 図14のようにリヤバンパースポイラーセンター①を取付準備作業でリヤバンパーロアに貼付けた高さ基準マスキングテープに合わせ、ガムテープ等で仮固定する。
3. 図14のようにリヤバンパースポイラーセンター①の外周に合わせマスキングテープを貼付ける。
4. リヤバンパースポイラーセンター①を外す



5. 図15のようにリヤバンパースポイラーセンター①貼付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向に拭いて脱脂する。
6. 図15のようにリヤバンパースポイラーセンター①貼付け部にPACプライマーK500を塗布する。

⚠注意：本製品にはPACプライマーが2種類同梱されています。使用用途が異なりますので間違い無いよう注意してください。
K500(青)：素地パーツ
N200(赤)：塗装済パーツ

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPAで拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

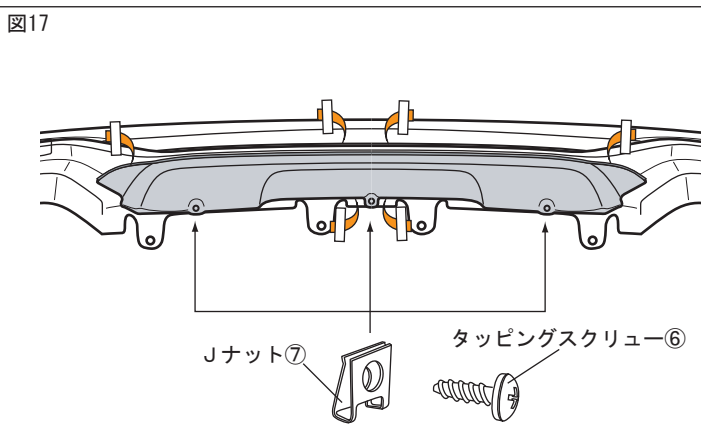


7. マスキングテープを剥がす。

⚠注意：高さ基準のマスキングテープは残します。

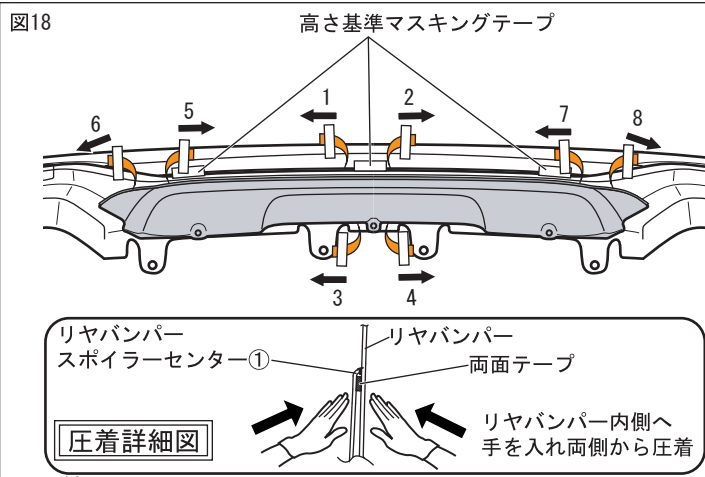
8. 図16のようにリヤバンパースポイラーセンターの離型紙を、外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(6箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がすと正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



9. 図17のようにリヤバンパーロアにJナット⑦を差込みリヤバンパースポイラーセンターをタッピングスクリュー⑥で仮固定する。(左右全3箇所)

⚠注意：図のようにJナット⑦の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー⑥が取付かなくなります。



10. 図18のように高さ基準を参考にリヤバンパーロアとリヤバンパースポイラーセンター①に隙間が開かないように押し付け、リヤバンパースポイラーセンター①の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け、圧着する。

{49N (5kgf) 以上}

11. 仮固定したタッピングスクリュー⑥を本締めする。
(左右全3箇所)

⚠注意：本製品取付けの両面テープの貼付け作業時は、以下の内容に注意し作業を行ってください。

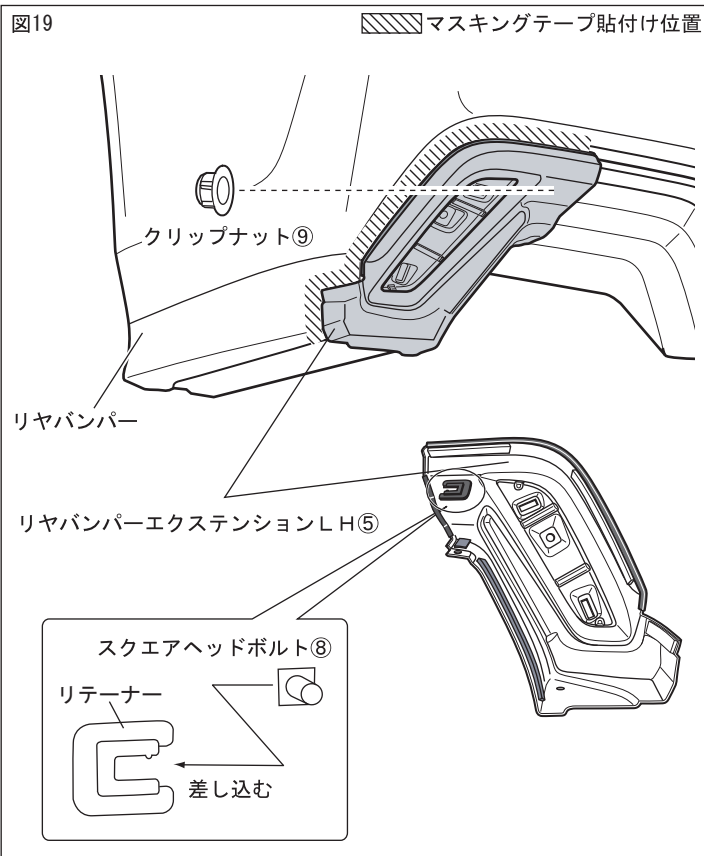
⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

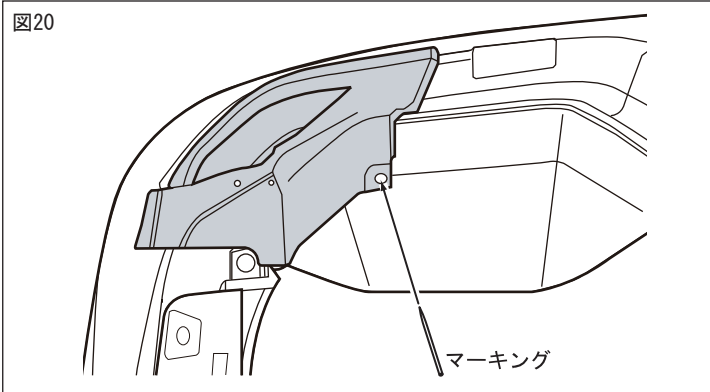


12. 図19のようにリヤバンパーエクステンションLH⑤に付いているリテーナーにスクエアヘッドボルト⑧を差し込む。
(左右各1箇所)

13. 図19のようにリヤバンパースポイラーエクステンションLH⑤をバンパーに合わせ、ガムテープ等とクリップナット⑨で仮固定する。
(左右各1箇所)

14. 図19のようにリヤバンパースポイラーエクステンションLH⑤の外周に合わせマスキングテープを貼付ける。

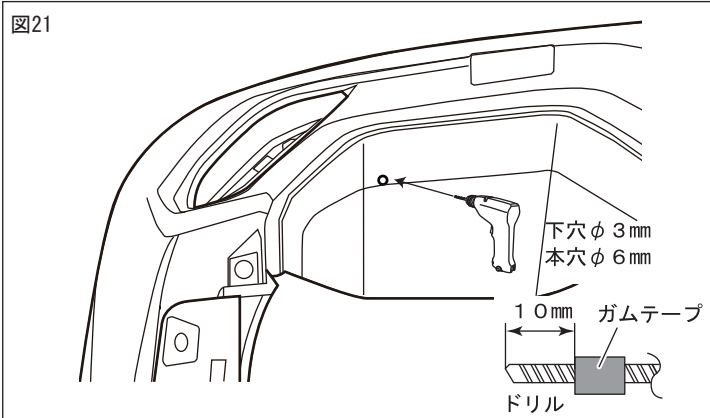
図20



15. 図20のように下部の穴位置にマーキングをする。

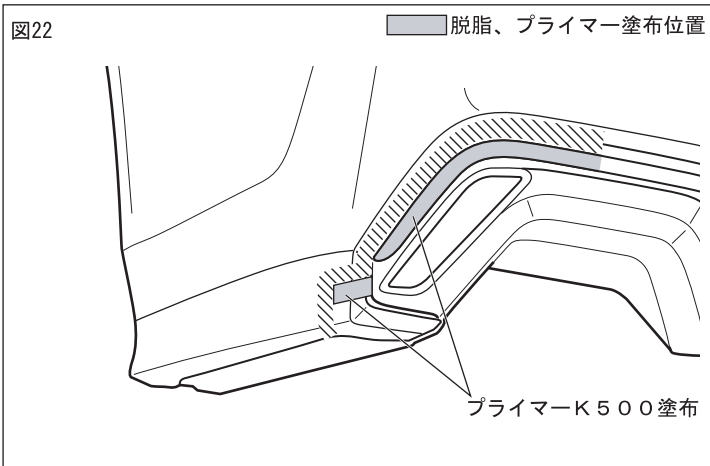
16. リヤバンパーエクステンションLH⑤を外す。

図21



17. 図21のように、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ6mmの順でドリルを使用してリヤバンパーロアのマーキング位置に穴をあけ、全てのバリを取除く。(左右各1箇所)

図22



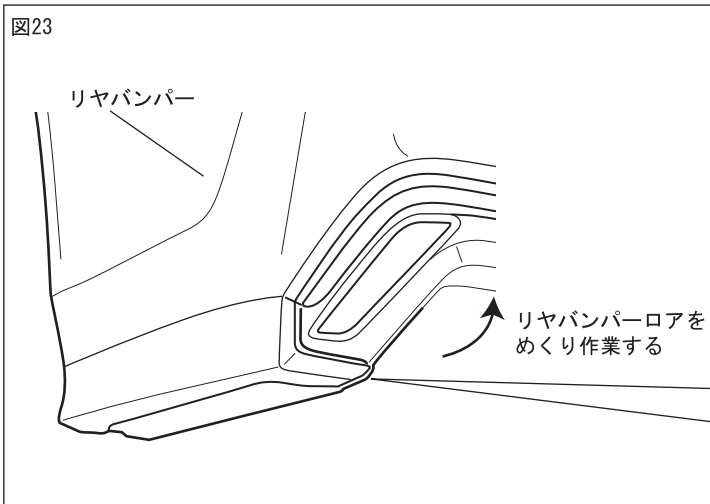
18. 図22のようにリヤバンパーエクステンションLH⑤貼付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向に拭いて脱脂する。

19. リヤバンパーエクステンションLH⑤貼付け部にPACプライマーK500を塗布する。

20. マスキングテープを剥がす。

⚠ 注意：本製品にはPACプライマーが2種類同梱されています。使用用途が異なりますので間違い無いよう注意してください。
 K500(青)：素地パーツ
 N200(赤)：塗装済パーツ

図23



21. クッション⑫を半分にカットして、リヤバンパーの汚れを取り除き、IPAで一方向に拭いて脱脂し、図23のようにクッション⑫を貼り付ける。(左右各1箇所)

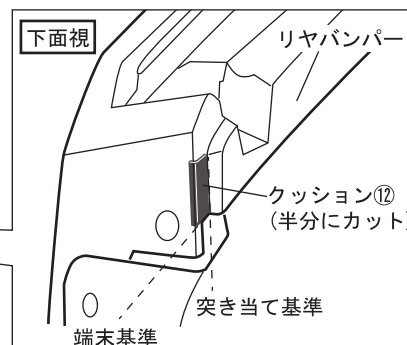
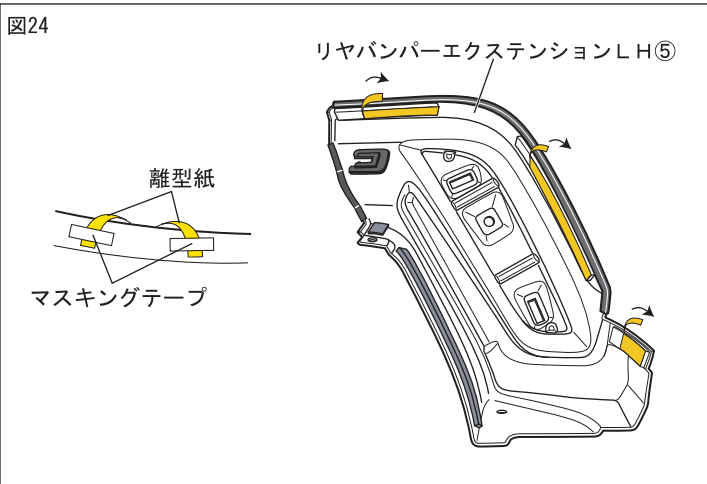


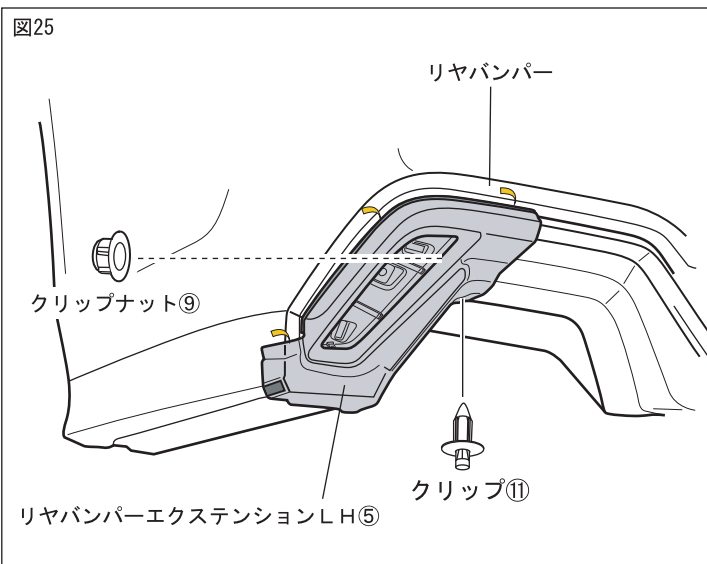
図24



22. 図24のようにリヤバンパーエクステンションLH⑤の離型紙を外側30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。(左右各3箇所)

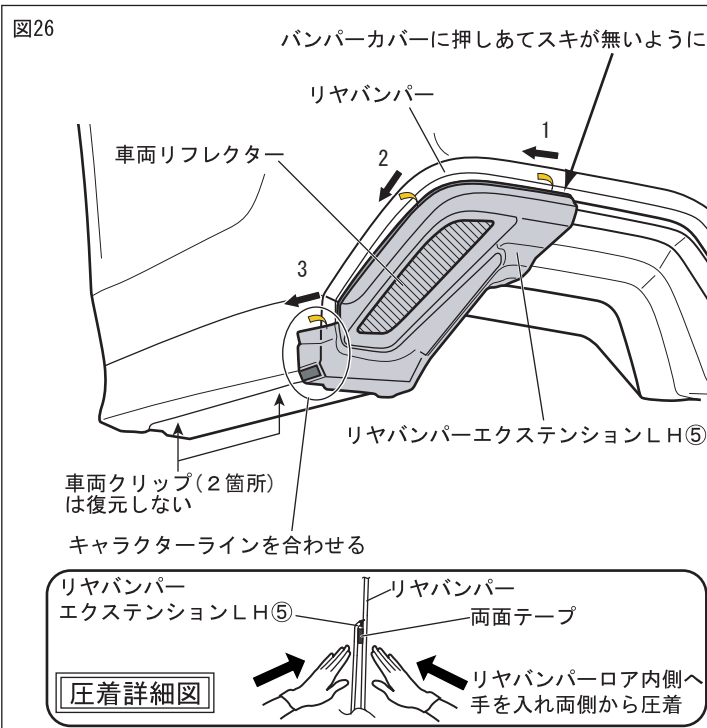
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がすと正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図25



23. 図25のようにリヤバンパーエクステンションLH⑤をリヤバンパーロアに合わせ、クリップ⑪とクリップナット⑨で仮固定する。(左右各2箇所)

図26



24. 図26のようにリヤバンパーとリヤバンパーエクステンションLH⑤に隙間が空かないように押し付け、リヤバンパーエクステンションLH⑤の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。(左右各3箇所)

{ 4 9 N (5 k g f) 以上 }

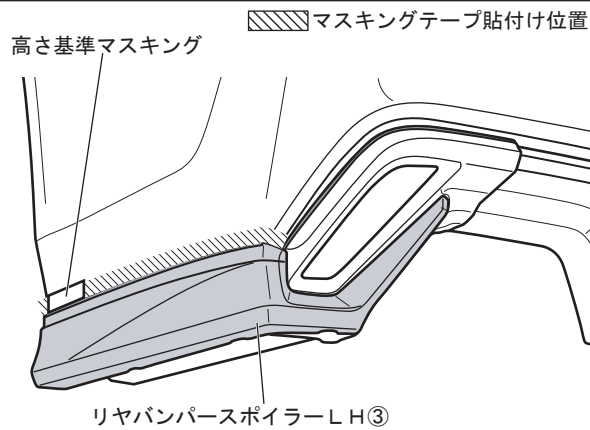
25. 仮固定したクリップナット⑨を本締めする。(左右各1箇所)

26. リヤバンパーエクステンションLH⑤に車両部品のリフレクターを取付ける。

27. リヤバンパーASSYを車両へ復元する。

⚠注意：車両クリップ2箇所は復元しません。

図27

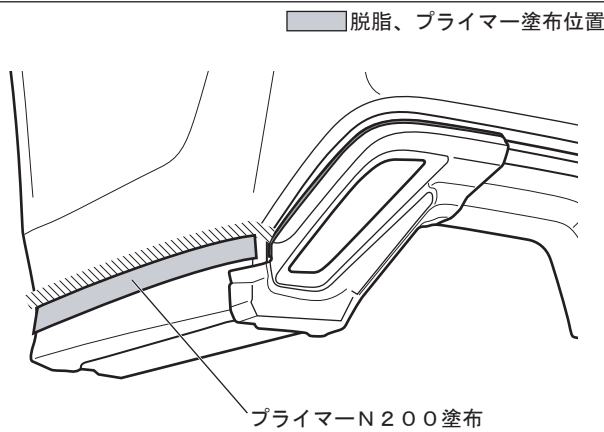


28. 図27のようにリヤバンパースポイラーLH3を高さ基準を参考にリヤバンパーに合わせガムテープ等で仮固定する。

29. 図27のようにリヤバンパースポイラーLH3の外周に合わせマスキングテープを貼付ける。

30. リヤバンパースポイラーLH3を外す。

図28



31. 図28のようにリヤバンパースポイラーLH3貼付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向に拭いて脱脂する。

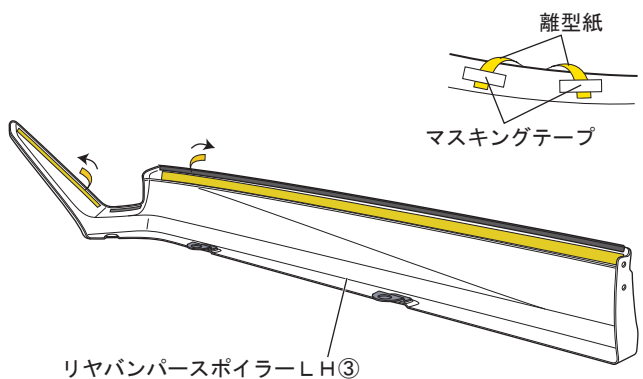
32. リヤバンパースポイラーLH3貼付け部にPACプライマーN200を塗布する。

33. マスキングテープを剥がす。

△注意：本製品にはPACプライマーが2種類同梱されています。使用用途が異なりますので間違い無いよう注意してください。
K500(青)：素地パーツ
N200(赤)：塗装済パーツ

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちIPAで拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

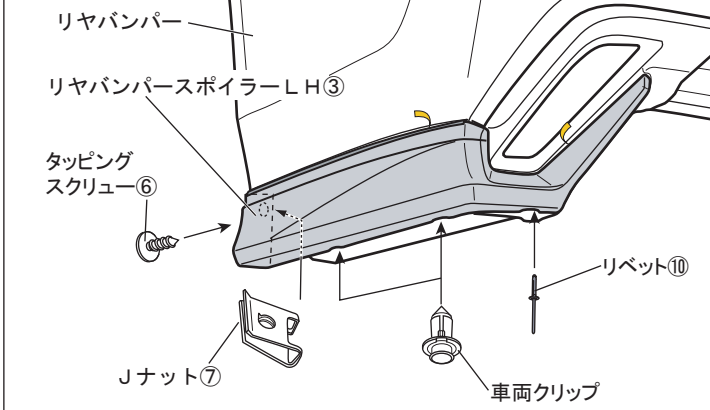
図29



34. 図29のようにリヤバンパースポイラーLH3の離型紙を、外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がすと正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図30

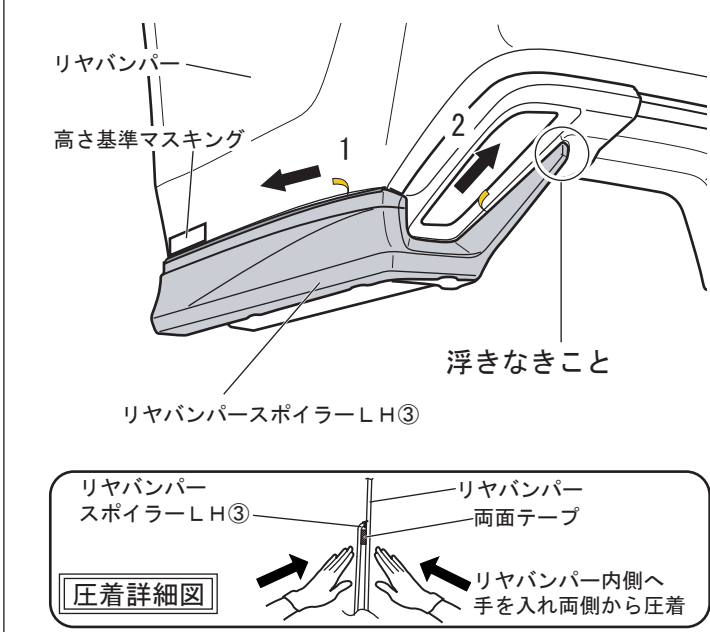


35. 図30のようにリヤバンパーにJナット⑦を差込みリヤバンパースポイラーLH③をタッピングスクリュー⑥で仮固定する。(左右各1箇所)

⚠注意: 図のようにJナット⑦の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー⑥が取付かなくなります。

36. 図30のようにリヤバンパーとリヤバンパースポイラーLH③をリベット⑩で固定する。(左右各1箇所)
37. 図30のようにリヤバンパーとリヤバンパースポイラーLH③を車両クリップで固定する。(左右各2箇所)

図31



38. 図31のように高さ基準を参考にリヤバンパーとリヤバンパースポイラーLH③に隙間が開かないように押し付け、リヤバンパースポイラーLH③の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。**[49N(5kgf)以上]**

⚠注意: 2番のテープ貼付け時は、先端の浮きなきよう押し付けて貼付けしてください。

39. 仮固定したタッピングスクリュー⑥を本締めする。(左右各1箇所)
40. マスキングテープを全て剥がす。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL: 050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

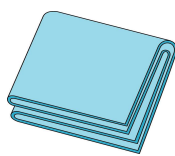


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



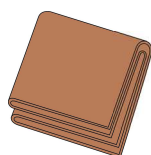
合成セーム皮



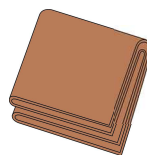
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



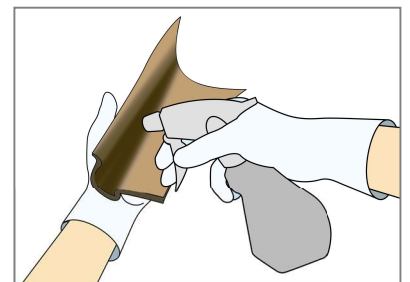
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

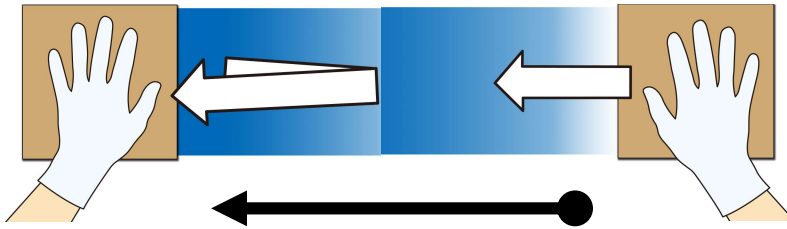
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

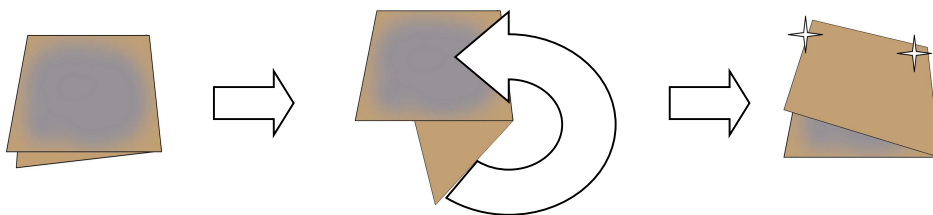
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。